

# ろ過スクリーン・貯留管のしくみ

## 雨水吐室とろ過スクリーンの役割

雨水吐室とは、一定量の水は処理場へ送り、一定量以上の水が流れてきた場合は海や川へ放流させる振り分け施設です。ろ過スクリーンとは、堰を越え海や川に放流される水に含まれるきょう雑物を極力取り除く施設です。

### ●写真の説明

写真正面の奥が上流です。写真では見えませんが、堰の上流側の左下には処理場へ接続している管があります。

雨天時に雨水吐室へ流入する水位が堰の高さを越えると、堰から溢れ出た水は消毒剤を投入したのち、相模湾へ放流されます。

晴天時や小降雨時など、雨水吐室へ流入する水位が堰の高さより低い時は、全ての水が処理場へ流れます。

## 東海岸雨水吐室の内部（ろ過スクリーン設置済）



放流時の水の流れ



### 取水人孔と取水管

雨水吐室の堰を越えてきた水を貯留管へ導く施設です。

### 返送管

晴天時に貯留管内の水を自然流下で流域下水道へ送る管路施設です。

## 貯留管の役割

貯留管には雨天時、雨水吐室の堰を越えた雨水が、取水人孔・取水管を経て溜まります。貯留管に溜まった雨水は降雨初期の流出水で非常に汚れているため、晴天時に流域下水道へ送り、処理場できれいな水にした後、海へ放流します。また貯留管が満杯になると雨水は海へ放流されますが、この時点では時間経過とともに汚れ度合いは小さいものとなっています。